



東三河総合庁舎 いっぽん門

豊橋市東八町5丁目4番地

構造／木質モニュメント
竣工／2026年1月
木材使用量／5.69㎡
施主／愛知県
設計／(株)アーティストリー
施工／(株)アーティストリー
木材加工／(株)アーティストリー、林建設(株)
設計監修／一級建築士事務所 建築クロノ



東三河の森と技を繋ぐ木のゲート

職人技術とデジタル技術が融合した3DX木工を用いて、東三河の豊富な森林資源と建築文化を再解釈し、来庁者を迎える『木の門（ゲート）』を表現している。

山から海に広がる東三河の地形を表した二本の柱と、太く長い木材「いっぽんもん」の門をくぐるたび、木の温もりや香り、この地域の森や人、そして受け継がれてきた技の力が感じられる。

「いっぽんもん」とは、

風の強い東三河の気候に合わせ、古くから東三河地域の家屋や寺社仏閣の建築に使われてきた太く長い木材。

使用した木材はすべて東三河産のスギ、ヒノキで、網・柱部分は愛知県立田口高等学校林業科の学生たちが伐採・製材した木材を使用するなど、伐採から加工までを一貫して愛知県内で行い、東三河地域の森と人の技を繋いでいる。

